

令和6年（2024）1月 入域観光客数概況（確定版）

62万9,200人

対前年（R5）同月比 +9万7,000人、+18.2%

～1月としては復帰後5番目、対前年同月比で26ヶ月連続の増加～

※（R2）同月比 ▲9万8,600人、▲13.5%

【更新履歴】①令和6年2月26日速報版公表

②令和6年4月25日確定版公表

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、4月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を3枚目に追加しています。

※外国人観光客数の確定値については、国別内訳集計時における四捨五入の関係で、速報版とは一致しません。

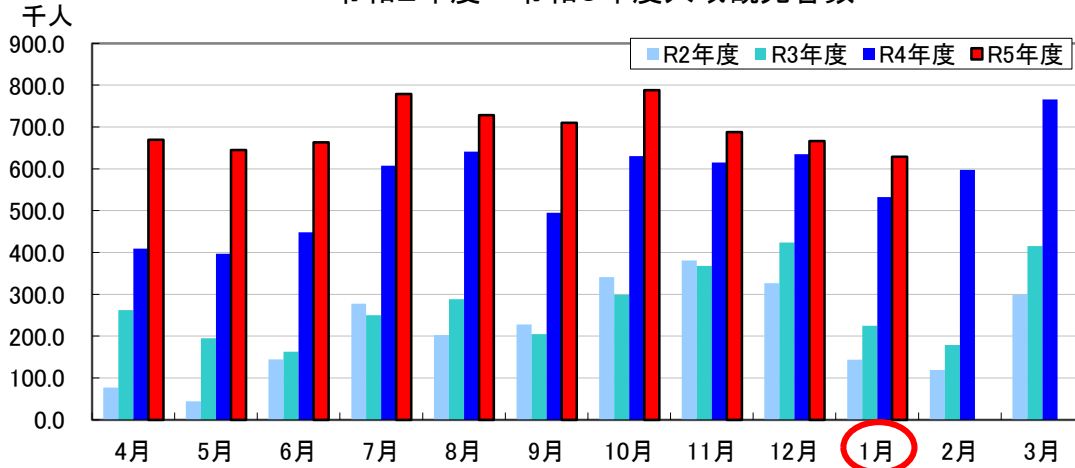
入域状況

入域観光客数（令和4年度との比較）

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	508,800人	487,400人	+21,400人	+4.4%	80.9%
外国客	120,400人	44,800人	+75,600人	+168.8%	19.1%
合計	629,200人	532,200人	+97,000人	+18.2%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等10,900人を含む。

令和2年度～令和5年度入域観光客数



国内客 入域状況

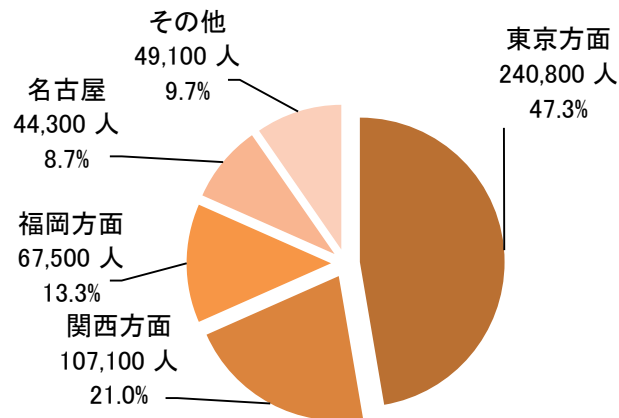
1月は、外国船では初となる那覇発着フライ&クルーズが4回実施されたほか、県内各地で開催された桜まつりやマラソン大会、サッカーキャンプ見学等の各種イベント、年始・連休に係る航空会社の増便・臨時便や地方発着チャーター便があったこと等から、前年同月を上回った。

国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	240,800 人	235,700 人	+ 5,100 人	+ 2.2%	47.3%
関西方面	107,100 人	100,100 人	+ 7,000 人	+ 7.0%	21.0%
福岡方面	67,500 人	61,900 人	+ 5,600 人	+ 9.0%	13.3%
名古屋	44,300 人	46,100 人	△ 1,800 人	△ 3.9%	8.7%
その他	49,100 人	43,600 人	+ 5,500 人	+ 12.6%	9.7%
合計	508,800 人	487,400 人	+ 21,400 人	+ 4.4%	100.0%

※国内海路客4,000人含む。

国内客の地域構成比



各方面ごとの概況と見通し

東京

1月は、那覇発着フライ&クルーズや桜まつり、マラソン大会等のイベントがあったほか、年始・連休に係る航空会社の増便・臨時便があったこと等から、前年同月を上回った。

関西

1月は、那覇発着フライ&クルーズや桜まつり、マラソン大会等のイベントがあったほか、年始・連休に係る航空会社の増便があったこと等から、前年同月及び令和2年同月を上回った。

福岡

1月は、那覇発着フライ&クルーズや桜まつり、マラソン大会等のイベントにより、前年同月を上回った。

名古屋

1月は、那覇発着フライ&クルーズや桜まつり、マラソン大会等のイベント、年始・連休に係る航空会社の季節運航(名古屋-宮古/石垣)があったものの、昨年同時期に運航されていた名古屋-石垣便運休等で前年同月を下回った。

外国客 入域状況

1月は、クルーズ船の寄港が増加したこと、航空路線では、那覇-高雄(台湾)便の再開、那覇-台北便、那覇-上海便の増便があったことのほか、年始、冬休み(1月下旬)の旅行需要により、外国客数は堅調に推移した。

2月以降については、4月3日に発生した台湾東部地震の影響が懸念されるものの、春節の大型連休やイースター連休による旅行需要が期待できるほか、クルーズ船の寄港回数さらなる増加、航空路線においては那覇-釜山便の再開(3/31～)、那覇-バンコク便(4/2～)の新規就航が予定されていることから、回復基調が続くものと見込まれる。

- トピック**
- ▶【台湾】4月に宜野湾市で開催される琉球海炎祭を組み込んだツアーが各旅行会社から販売され完売
 - ▶【北京】12月の北京-沖縄路線再開により、FIT客向けのオプション商品や小団体向けのオーダーメイド商品を始めた沖縄観光商品が販売された。
 - ▶【香港】あぐー、刺身御膳等を楽しむ美食ツアーやイースター連休(3/29～4/1)向けの沖縄ツアー商品が販売された。

外国客 国籍別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
台湾	52,000人	15,900人	+36,100人	+227.0%	43.2%
韓国	28,700人	20,000人	+8,700人	+43.5%	23.8%
中国本土	10,500人	200人	+10,300人	+5150.0%	8.7%
香港	11,400人	7,200人	+4,200人	+58.3%	9.5%
アメリカ	1,600人	600人	+1,000人	+166.7%	1.3%
タイ	500人	100人	+400人	+400.0%	0.4%
シンガポール	1,400人	100人	+1,300人	+1300.0%	1.2%
その他	14,300人	700人	+13,600人	+1942.9%	11.9%
合計	120,400人	44,800人	+75,600人	+168.8%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等10,900人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R5年度	R4年度	増減率	構成比	R5年度	R4年度	増減率	構成比
台湾	43,600人	15,900人	+174.2%	46.9%	8,400人	0人	皆増	30.5%
韓国	27,500人	20,000人	+37.5%	29.6%	1,200人	0人	皆増	4.4%
中国本土	5,700人	200人	+2750.0%	6.1%	4,800人	0人	皆増	17.5%
香港	10,000人	7,200人	+38.9%	10.8%	1,400人	0人	皆増	5.1%
アメリカ	1,200人	600人	+100.0%	1.3%	400人	0人	皆増	1.5%
タイ	500人	100人	+400.0%	0.5%	0人	0人	—	0.0%
シンガポール	1,400人	100人	+1300.0%	1.5%	0人	0人	—	0.0%
その他	3,000人	700人	+328.6%	3.2%	11,300人	0人	皆増	41.1%
合計	92,900人	44,800人	+107.4%	100.0%	27,500人	0人	皆増	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等10,900人を含む

外国客の地域構成比

